

実施報告

1. 企画名：北海道教育大学函館校「国際協力最前線」

【形態：相談対応サービス・講演・セミナー・その他（ ）】

2. 出張者氏名：池田 誠

3. 協力団体／依頼元団体名：北海道教育大学函館校

4. 実施予定日時：平成 25 年 6 月 21 日 14:30～16:30（質疑応答も含む）

5. 実施場所：北海道教育大学函館校（函館市八幡町1-2）

6. 企画の概要及び対象者

北海道教育大学函館校の2年生を対象に、国際協力やNGO活動についての講義としての出張サービス。専攻としても、国際協力をとっている学生も多く、グローバル人材を育成し、国際舞台で活躍できるようなモチベーションをもてる講義を行った。（25名）

7. 所感や効果

NGO について話す前に、参加している学生らがどのくらい NGO について興味を持っているのかを尋ねたところ、全国の国際学生サークルに入っている人や、積極的に海外に関わろうとしている人が多い印象だった。また、今後、海外でインターンをやってみたい、NGO でボランティアをしてみたいなど積極的な声が寄せられて、NGO への関心がより高まったように思われた。今後も、若者のモチベーションを上げられるような話をしてゆきたい。

（一般財団法人 北海道国際交流センター（HIF））



実施報告

1. 企画名：フェアトレードフェスタ 2013 in さっぽろ

【形態：相談対応サービス・講演・セミナー・その他（NGO 相談コーナー）】

2. 出張者氏名：池田 誠

3. 協力団体／依頼元団体名： .

フェアトレードフェスタ 2013 in さっぽろ実行委員会

4. 実施予定日時：平成 25 年 6 月 29 日-30 日 10:00~17:00

5. 実施場所：大通公園 8 丁目会場（札幌市中央区大通西 8 丁目）

6. 企画の概要及び対象者

札幌の中心大通公園で行われるフェアトレードイベント。今年で5回目になるが、毎年10000人以上の来客があり、多くの人たちにNGO活動を啓蒙する機会となっている。またNGO相談業務自体についても積極的に広報活動をしてゆくことができた。来場者の多くは一般の方も多いと思われるのでフェアトレードから国際協力に関心を高めるチャンスになった。（相談対応：25名）

7. 所感や効果

イベント会場での相談のため、じっくりという相談ではないが、関心を持っている人は多く、フェアトレードのイベントをしてみたい、NGO 団体についていろいろと知りたいなどの相談が寄せられた。また、大学でフェアトレードのスタディツアーを計画したいとの相談があり、こちらも資料を持って説明にあたった。フェアトレードへの高い関心が伺えた。

（一般財団法人 北海道国際交流センター（HIF））



平成 25 年 7 月 9 日

外務省国際協力局
民間援助連携室長
山口 又宏 殿

特定非営利活動法人沖縄NGOセンター

NGO 相談員による出張サービス実施報告書

NGO 相談員として、出張サービスを実施しましたので、内容をご報告させていただきます。

記

1. 企画名：いのちをつなぐアースハーモニー2013～チョコで幸せはんぶんこ～
2. 実施日時：平成 25 年 6 月 2 日（日） 9 時 00 分～19 時 00 分
3. 実施場所：沖縄キリスト教学院大学 SHALOM 会館
4. 実施内容：沖縄県内のフェアトレードショップと NGO 団体が一同に集まり、世界で起きている問題に触れ、私達ができることを考えるきっかけを作るイベント「いのちをつなぐアースハーモニー2013」のイベントを開催。日本の普通の女の子がガーナでの児童労働にふれたドキュメンタリー映画「バレンタイン一揆」上映後に実際にガーナで NGO 活動をする NGO ACE の講演を行った。また本イベントの主催団体の活動紹介トークを行い、地域での活動を紹介する機会をもった。相談員ブースでは、児童労働とフェアトレードについてや開発教育について紹介し、NGO の役割や開発教育などの質問があった。また掲示物による児童労働やフェアトレードの説明、実際にチョコレートの原材料カカオの実に触れる体験コーナーを設置し、子どもから大人まで楽しめるイベント実施を心がけた。
5. 参加者人数：総勢 200 名
6. 所感及び効果

今年で 7 回目の実施となち、来場者は学を中心に 200 名程度であった。私達の身近にあるチョコレートから世界を考えることをテーマにし、「バレンタイン一揆」を上映し、NGO エースの講演、また主催団体団体のトークショーを通して、フェアトレード、NGO・NPO 活動、そして地域での活動への関心をもつきっかけを作ることができた。本イベントに参加し、想いを相談したことで次へのアクションにつなげた学生もいた。



2013年6月7日

外務省 国際協力局 民間援助連携室長 殿

特定非営利活動法人名古屋 NGO センター



NGO相談員による出張サービス実施報告書

5月31日付貴信にてご承認いただきました、NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施いたしましたので、ご報告します。

記

1. 企画名：海外ボランティアに行ってみよう！

スタディツアー合同説明会内でのNGO相談コーナーの設置

【形態：相談対応サービス・講演・セミナー・その他】

2. 出張者氏名：（特活）名古屋 NGO センター 田口裕晃

3. 催しの概況：

実施日 2013年6月1日（土）15:00～17:00

場所 YWCAビル 2F ビックスペース（名古屋市中区）

対象者 学生・社会人など 43名

概要 中部地域のNGOが行う海外スタディツアーの合同説明会で、NGO全般についての質問やスタディツアーの基礎について説明するコーナーを設置し、相談に対応した。

4. 実施内容：



●主な相談内容は以下のとおり。

- ・NGOで就職したいと思っているがどうやって求人情報をさがせばいいか。
- ・カンボジアに関わる団体でスタディツアーを実施している団体を紹介してほしい。
- ・開発教育に関心があるがイベント情報などを教えてほしい。
- ・名古屋 NGO センターが実施する NGO スタッフ育成研修について興味があるので詳しく教えてほしい。

学生を中心とした参加者が多くを占めた。海外ボランティア・スタディツアーについて、名古屋にあるNGOを紹介してほしい、NGOスタッフになるためにはどうすればいいか等の基本的な相談が多く寄せられた。自分自身の経験を踏まえて具体的に伝えるように心がけた。

報告者：（特活）関西 NGO 協議会 北川順子

1. 企画名：

「2013 夏スタディツアー説明会～行ってみよう！もうひとつの旅～」NGO 相談員ブース出展

【形態：相談対応サービス・講演・セミナー・その他（ ）】

実施日時：平成 25（2013）年 6 月 22 日（土）

13 時 30 分～17 時 00 分

場所：龍谷大学 大阪梅田キャンパス

（大阪市北区梅田 2-2-2 ヒルトンプラザ
ウエストオフィスタワー14 階）

主催：株式会社マイチケット、龍谷大学、
特定非営利活動法人関西 NGO 協議会

出張者氏名：北川順子



2. 実施内容：

今夏にスタディツアーを企画している NGO が一同に会し、ツアーおよび国際協力に興味を持つ方々を対象に説明会を開催した。第 1 部は映像を用いてスタディツアー全般についての説明、および各団体がそれぞれのツアーの特徴や過去の参加者の声などをプレゼンテーション形式で発表を行った。続く第 2 部では各団体の発表を元に、参加者が各々、興味のある団体のブースに足を運んで説明を聞き、個別の疑問質問に応えた。

当会は、関西における国際協力 NGO の広報支援を担っていることもあり、NGO 相談員として、ツアーに興味を持つ方々はもちろん、「スタディツアーとは何か」から「国際協力に関わるには」まで幅広く参加者の相談に対応した。

3. 集客人数または相談対応件数：

参加者：約 85 人、ブース出展：16 団体

4. 所感及び効果等：

これまでも年に 2 回開催している。今回は開催地が京都から大阪駅前にある龍谷大学梅田キャンパスに変更、アクセスが良いこともあり、来場者が大幅に増え、盛況であった。

来場者の多くは学生であったため、スタディツアーへの具体的な相談に加え、国際協力に関わる方法、学生団体として活動している事業に関するアドバイス要請、将来の進路、など多岐にわたる相談を受け付けた。当会では、相談者のニーズや知見の多寡をできる限り把握・理解し、客観的な立場からより相談者にあった情報の提供、あるいは情報の入手可能な団体の紹介を心がけた。

NGO 相談員としてスタディツアーの説明会に参加することで、スタディツアーとは何か、というところからの説明や、国際協力への導入、さらには将来の進路への相談を行うことができ、意義深い NGO 相談員の出張サービスとなった。



以上

NGO相談員による出張相談実施報告書

1. 行 事 名 「御坊商工祭 2013」
【形態：相談対応サービス】NGO相談員の情報&相談コーナー
2. 出張者氏名 (特活) 関西国際交流団体協議会 西 保彦
3. 依頼団体 御坊商工祭実行委員会(事務局：御坊商工会議所)
4. 実施日時 2013年6月9日(日)10時～16時
5. 実施場所 御坊市本町・中町商店街一帯
(〒644-0001 和歌山県御坊市御坊148)

6. 実施報告

(1) 企画概要

①当協議会では、本イベントにNGO相談員の出張サービスとして出展し、情報&相談コーナーを設置して国際交流・協力活動の情報提供と個別相談を行った。本イベントは1960年～1977年まで開催されていた御坊市の一大イベントを2009年に地元の有志で本イベントを復活させ、今年で5年目を迎える開催であり、近年来場者は1万5千人を越える。

②本イベントに来場する一般市民・地域の若者に国際協力に対する関心の向上やキャリア形成のきっかけ作りを目的とするほか、国際協力およびボランティア、NGO・NPOに関する情報提供と相談対応をJICA和歌山デスク及びネパールを支援する地元の団体「NPO法人ラックアジア友の会」とで連携して実施した。

③本イベントではJICA和歌山デスク・NPO法人ラックアジア友の会の共同出展で行った。JICA和歌山デスクはネパール語のネームプレートを無料作成し提供を行いながら、JICAの市民参加事業の活動を紹介した。

- (2) 参 加 者 <御坊商工祭全体> 来場者数：約10,000名
<JICAブース> ブース来場者数：約200名
個別相談対応：合計7名

- (3) 相 談 内 容 ①NPO/NGOの活動について……1件
②国内ボランティアについて………1件
③スタディーツアーについて………1件
⑥フェアトレードについて………1件
⑧ODA一般………2件
⑩海外青年協力隊について………1件

(4) 相談者区分 [NGO/NPO関係者] 1名 [学生] 1名 [社会人] 3名 [主婦] 2名

7. 全体的な感想

今回参加した「御坊商工祭」では地域の活性化と地元住民の交流をはかる目的として地域では大きなイベントとして開催されていた。市内中心地に6つのゾーン(メインステージ・飲食ゾーン・文化ゾーン・商工会議所青年部ゾーン・高校生ゾーン・商店街ゾーン)が設置されており、相談員のブースは飲食ゾーン及びステージ会場であったため、家族連れ・若者(小学生～高校生)の来場者が目立った。参加者は御坊市内のみならず近隣在住の方も来場し、地域一円での盛大な催しであると感じた。

JICA和歌山デスクのブースでは気軽にブースに立ち寄ってもらえるようにネパール語のネームプレートを作成し、子供たちに無料配布して、その際にJICA関係の資料を提供する施策は来場者を増やすために非常に効果的であったと感じた。

来場者の声として、都会では多くのNGO・NPO団体が在り、相談する機会が多くあるが地方では情報収集する場や機会が少ないことを言及していた。そのため、チラシやパンフレットに記載されている情報だけではなく、細部についての質問や相談が多かった。ブースにて相談を受けた方々の傾向は家族連れが殆どであったが、その中でODA政策やフェアトレードに関心があるのが30～40代の男性(父親)であり、高校生や20代女性はボランティア活動や海外青年協力隊についての相談であった。この地域でも海外青年協力隊に参加していた経験を持つシニア層がいらっしやって、国際協力に関心を持つ潜在層は地方にもあると感じられた。

今後も関西圏各地域で開催される主要なイベントには、JICA推進委員と共に積極的に参加していきたい。

《 相談ブース風景 》



【議事録】NGO 相談員 JICA 推進員意見交換会

日時：2013 年 6 月 12 日（水） 場所：JICA 関西会議室

司会・進行：推進員（滋賀県担当）上井さん

記録：相談員（関西国際交流団体協議会）松本

出席者

【NGO 相談員】

（特活）関西国際交流団体協議会 眞鍋瞳子、松本 彩

（特活）関西 NGO 協議会 奥谷充代、北川順子

（公財）PHD 協会 坂西卓郎、井上 理子

【JICA 国際協力推進員】

大阪デスク 中西真実、溝端恵里香 滋賀デスク 上井香奈

京都デスク 森万佐子 奈良デスク 吐山知志

兵庫デスク 秋山玲美 和歌山デスク 野村 実里

【JICA 関西センター】

市民参加協力課 山本将史

1. 参加者自己紹介
2. 前回のふりかえり
3. NGO 相談員連絡会議の報告

①NGO 外務省定期協議会 6 月 10 日@外務省（関西 NGO 協議会 北川さん）

<主な内容>

- TICADV の報告
- ポスト MDGs をどのように進めていくか
- CSO 開発効果に関する本邦 NGO の動き
NGO、NPO だけでなく幅広い市民活動団体を対象にした自助的な援助基準について、外務省が承認した。今後 3 年かけて国内にも普及させていく。
- 外務省で ODA 案件をデータ化して、PDCA サイクルにのっとり公表している。
→結果公表はしているが、解決に至っていないので、プロセスの公開も必要。
- ODA 予算について、円安が進んでいる中、円ベースで増やす必要がある。
- 女性を巡る外交課題
 - ・ 「女性の社会進出促進支援」→途上国においても女性の活用を進める。
 - ・ 「国際の平和と安全における女性の役割」→特に日本政府は経済開発以外の視点が疎かになっているという指摘があった

<質問・補足>

- 議題は NGO からの要望も拾われるのか→拾われる。
- 定期協議会は2つに分かれていて、全体会議にて両方の内容を含んでいる。
 - ・ 連携推進委員会：実務面での連携について
 - ・ ODA 政策協議会：政策レベル

②第1回 NGO 相談員連絡会議 6月11日@外務省 (PHD 協会 坂西さん)

- 民連援助連携室より昨年度の報告
 - ・ 全国の相談件数は 12937 件で前年より微増、フィードバックシート枚数は減少
 - ・ 出張相談件数は前年より減少
- 山口民連室室長の講話：民連室からの3提案
 1. 大学への講演の強化
 2. 地域での国際協力イベントへの積極的参加
 3. 青年海外協力隊の募集説明会との連携募集説明会に加え、帰国報告会や、民連室のBOP ビジネスのスキームでの説明会にブース出展できないか。

<3についての議論>

- JICA としては、下記2点がクリアできれば可能と思われる。
 - ・ JOCA との契約
 - ・ JICA 全体の方針、協力隊事務局の方針との整合性
- 募集説明会には協力隊志望者が参加するので、相談員がいてもそこにはいかない、むしろ協力隊に関する情報を聞きに行く。
- 参加者が全員協力隊に応募するとは限らない。協力隊への参加志望があいまいな人にとってはよいかもしれない。
- 職種未定の枠の中に相談員を入れればどうか
- 協力隊ではなく NGO を選んでしまう懸念
→NGO 相談員は協力隊への参加も含めてアドバイスするので、国際協力に携わる人を増やす点で、マイナスにはならない。
- 説明会以外での相談員参加についての案
 - ・ 協力隊後のフォロー面でも、帰国研修でのアプローチ
 - ・ 事前に案内したいなら OB 会が実施している壮行会

以上をふまえ、

- 効果は実施してみないと不明であるため、一度実施し反応を見える。また、帰国報告会や壮行会で実施した場合と反応を比べる。
- JOCA との調整においては山本さんに取りまとめていただくことになった。

4. 2013 年度推進員イベントの共有

- 各府県のイベントで、相談員の出展や参加ができるものの共有
- 出張相談出展費用は NGO 相談員で計上できることを確認済み
- ボランティアプラットフォームのサイトに相談員のバナーを掲載できないか検討
- 国際協力イベントには、関西の NGO を出してほしい。NGO 以外につなぐこともできるので、相談してほしい。

5. 次回意見交換会について

後任の推進員も揃う 2 月 5 日（水）で予定

司会：相談員 記録：推進員

以上



平成 25 年 7 月 8 日

外務省国際協力局
民間援助連携室長 殿

特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構
富岡 洋子

NGO 相談員による出張サービス実施報告書

NGO 相談員として出張サービスを実施したので、内容をご報告いたします。

記

1. 企画名：アフリカンフェスタ
2. 形態：相談対応サービス
3. 出張者氏名：富岡 洋子
4. 依頼元/主催団体名等：TICAD V 学生プロジェクト中国地方事務局
5. 実施日時：平成 25 年 6 月 1 日（土）・2 日（日）10 時 - 16 時
6. 実施場所：広島留学生会館 広島市南区西荒神町 1 番 1 号
7. 実施の内容：

上記イベントにおいてブース出展し、主にブース出展した大学生に対し、開発協力 NGO として国際協力の現場における活動や、さまざまな活動参加の形態について情報を提供した。

8. 所感・効果：

イベントには中国地方の各県で国際協力活動を行っている大学生のサークルがブース出展、もしくはステージでのアクション・プランの発表という形で参加した。

相談員としてブースを設け、2 日間で合計 24 件の相談に対応した。相談者の多くは今回のイベントに参加している学生で、自ら国際協力の活動を行っている、関心の高い層であるが、それでも、「どこに相談すればいいかわからなかったので今回相談ができて良かった」との発言が多く聞かれた。参加した意義は大きかったが、逆に、相談員制度が必要な層に届いていないことを認めざるを得ない結果となった。

終了後、ODA 出前講座について確認の上情報を追加提供したが、謝金は不要であるものの、交通費は実費負担してほしいとのことで、どうしても機会の限られる地方の学生に対し、不利な内容であるのが残念であった。例えば NGO 相談員の出張相談の企画型で NGO に加えて ODA 出前講座の講師の交通費も提供できれば、幅広い視点が提供でき、より深い理解を促すことができるのではないかと考える。



ブースでの相談の様子



会場の留学生会館全景



会場の様子



ブースでの相談の様子

平成 25 年 7 月 8 日

外務省国際協力局
民間援助連携室長 殿

特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構
梶田 未央

NGO 相談員による出張サービス実施報告書

NGO 相談員として、出張サービスを実施しましたので、内容をご報告させていただきます。

記

1. 企画名：途上国の現状と開発支援についての講演
2. 形態：講演
3. 出張者氏名：梶田 未央
4. 依頼元/主催団体名等：ノートルダム清心女子大学講師 小笠原ヒロ子
5. 実施日時：平成 25 年 6 月 7 日（金）14 時 45 分～16 時 15 分
6. 実施場所：ノートルダム清心女子大学（住所：岡山市北区伊福町 2 丁目 16-9）
7. 実施の内容：

上記大学の文学部英文学科の授業において 17 名（大学生 15 名、教職員 2 名）に対し、途上国の現状と開発支援および国際協力関連のキャリアパスについて講演を行った。

8. 所感・効果：

講演を通じて、学生に国際協力や NGO 活動について知ってもらうことができた。出張者はインドネシア事業統括を務めており、任地より一時帰国中であったため、現場での活動の実際やインドネシアの現状について、事例に基づいた具体的な情報を提供することができた。聴講者からは、「プロジェクトの成果を測る仕組み」や「海外で活動する際に危険を感じることはないのか。また危機管理の方法は？」、「日本とは文化の違う中で困難を感じたことは？」といった活発な質問が寄せられ、聴講者の興味の高さが伺える有意義な出張サービスとなったと考える。

また、海外でのボランティアや就職など、国際協力に携わることを希望する聴講者もあり、出張者の経験から具体的なキャリアパスについても参考になる情報を提供できたと思う。



講演の様子：参加者からは活発な質問が寄せられた

(特活) NGO 福岡ネットワーク：NGO 出張相談報告書 (平成 25 年 6 月)

(ア) 団体名・出張サービス企画名・実施日時・場所

団体名：(特活) NGO 福岡ネットワーク

企画名：国際協力宿泊型セミナー

実施日時：平成 25 年 6 月 1 日 (土) 13 時 30 分～2 日 (日) ～12 時 30 分

場所：JICA 九州 (福岡県北九州市八幡東区平野 2 丁目 2-1)

(イ) 実施内容

本セミナーは、青年海外協力隊や国際協力活動に参加したいという人を対象に 1 泊 2 日の宿泊型セミナーとして開催された。海外ボランティアについて講師と参加者が一体となって検討を行ったり、世界の問題を参加型で学ぶことのできるワークショップをしたり、青年海外協力隊経験者による活動などについても紹介した。

当団体は、「国際協力・海外ボランティアってなんだろう？」をテーマにしたワールドカフェにおいて参加者からの疑問質問に応じたり、そうしたテーマを考えるきっかけの提供を行ったり、また、世界の問題を学ぶことのできる「貿易ゲーム」においては進行役の補助を行ったり、夕食後の懇親会では参加者と気軽に交流しながら国際協力について理解を深めていただくお手伝いを行った。

(ウ) 集客人数

参加者数：35 人

所感及び効果等

本セミナーでは国際協力に幅広く関心のある市民（主な参加者は大学生）が多数参加しており、彼／彼女たちの「学びたい」という意欲や熱意に、時に圧倒され、時に関心させられた 2 日間であった。

今回のセミナーは、国際協力に関心を持ち始めた層やもう少し情報や人脈を得たいという層にとって貴重な機会になっていた。普段の生活では学ぶことのない知識や新たな視点を大量に浴びることで、知識を集積し、新たな興味関心事項を掘り起こす機会となっていたからである。そうした効果は相談に応じている最中にも感じ取ることができた。

興味を深めていくこと、次の行動を起こすことなど、参加者にとってそれぞれのきっかけを得ることができたセミナーだったと思われる。そのきっかけを得るポイントの一つが出張サービスによる相談対応や対話であったという確かな手応えを感じている。



国際協力クイズを通して参加者と交流を深めた



講師の話に参加者は熱心に耳を傾けていた